



大森雅夫岡山市長答弁 ○○○ 岡山駅への路面電車乗り入れ検討は 今でしょ!

この問題は12月4日から始まった代表質問で出されていましたが、担当局長が「都市交通戦略で、吉備線LRT(※)化計画に続き検討するものと考えている」との答弁を繰り返していました。12月10日の個人質問でも局長は同じ答弁だったのですが、再度の議員の質問に対し、市長はつぎのように答えました。

「路面電車の話もずいぶん議論、従来からされていると思います。路面電車の、とくに駅への乗り入れっていいますとですね、その点については、私も今回、回遊性の向上だとか、また駅に降りた人たちの、利便性の向上にはつながるものだというように思っています。

ただ、費用面はどうだとか、関係者の理解がどの程度得られるのかとか、いろいろな問題があっすぐには答えられない問題だと思えますが、ただ交通戦略上は、確か長期的な課題というふうに位置づけられておりますけれども、来年11月にイオンが進出する。

そして緊急にそういう回遊性を向上させていかなきゃいかんということであれば、こういう駅への乗り入れなどを、長期的な課題として考えるのではなくて、もう少し、その立場、状況は変えていく、状況は変わったという認識を持たなきゃいかんと思っています。従って、駅への乗り入れについても、私としては、今、検討に値する問題だと理解しております。」

これこそ前市長に欠けていたリーダーシップですよ。

図書館整備でリーダーシップ発揮?

岡山市の図書館整備を求める質問に対して、大森市長は「私も何度も何度も引っ越しをしていますけれども、引っ越しをするたびに図書館はどこにあるかということ必ずチェックをさせていただいております。そのように市民の暮らし、また、まちづくりには役立つところだというように認識をしている

ところであります。」と答弁しました。

図書館整備を担当する教育長は「図書館の整備につきましては、これまでもお答えをさせていただいておりますが、現在、『岡山市立図書館のあり方』というものの策定を進めておるわけでございます。その後、今ある整備計画自体についての見直しをはかりながら検討を進めていくということでございます。」と答弁。これでは岡山市中区にいつ図書館ができるか、全くわかりません。

本・情報という栄養が、個性や自立した健やかな成長にとって欠かすことのできないものであり、情報があふれる時代を生きる大人、子どもにとって、様々な情報に触れ、見極め、自分に必要なものを選択する力は欠かせないものです。成長への栄養、そして見極める力を養う図書館を提供することは行政の責任であり、中区に限らず岡山市全域の図書館整備のスピードアップを図らなければならないと思います。

図書館への思いを語る市長、路面電車でリーダーシップを発揮したように図書館でも発揮してください。

※LRTとは

ライト・レール・トランジットの略。車の渋滞解消や環境への配慮からフランスや英国、米国などで広がった低床の路面電車。

下市このみ事務所からのお知らせ

- ▼ ~12月20日(金)11月定例市議会開会中
 - ▼ 1月7日(火) 映画上映会
10:00~12:00/下市このみ事務所
 - ▼ 1月21日(火) まちづくり~おしゃべりネット♪
10:00~12:00/下市このみ事務所
- 年末年始のご案内
コミュニティカフェ高屋みんな堂
年内最終営業日12月18日(木)
2014年営業開始日1月9日(木)
- 野菜市
年内最終営業日12月25日(水)
2014年初売り1月8日(水)
下市このみ事務所休業日 12/27(金)~1/5(日)
本年もありがとうございました。
来年もよろしくお願ひします。